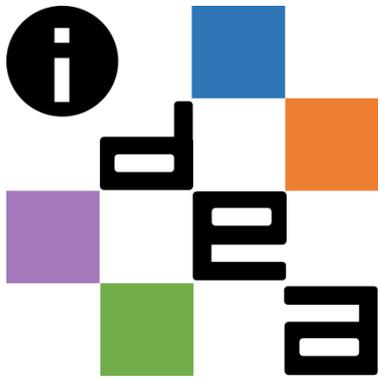


NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター アイデア



2017

6月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



- 2 | **二言三言** 力を合わせて地元名物を復活！
- 4 | **団体紹介** 奥玉地元学研究会（千厩）
- 5 | **地域紹介** 弥栄8区（一関）
- 6 | **企業紹介** Interior design office Old Man（一関）
- 7 | **センターの〇〇** 100人？に聞きました！カドグチ・ジョノグチの違いはあるの？

## 力を合わせて地元名物を復活！

対談者 猿沢羊羹づくりに取り組む「まごころ弁当」会員の皆さんと  
「猿沢地区振興会」まちづくり委員会の皆さん（以下「会員」）  
聞き手 いちのせき市民活動センター 支援員 千葉歩

### 猿沢の“名物羊羹”復活にむけて

【千葉】皆さんが今取り組んでいる「猿沢羊羹」づくりは、猿沢地区振興会（以下「振興会」）で開催した猿沢まちづくり計画を策定するための話し合いの中で「猿沢羊羹を復活させたい」という声がかきつけましたね。でもまさかこんなに早く羊羹の取り組みが始まるとは、さすが猿沢のお母さん方のパワーだなと改めて思っています。今回は、実際に羊羹を作っている皆さんに、羊羹復活までの経緯や取り組んでみての感想などをお聞きしていきたいと思います。



猿沢羊羹づくりを  
まごころ弁当の皆さんと  
振興会の皆さん

【会員】計画策定の話し合いの時にもそういう声が出ましたが、地区住民を対象に行ったまちづくりに関するアンケートの回答にも「猿沢羊羹の復活」という声が多かったようですね。猿沢の手土産と言えば団子と羊羹だったんですが、それがいつでも手に入るのが地区では当たり前になっていて。猿沢羊羹は、いざ無くなってからその大切さに気付いたんです。

【千葉】猿沢羊羹を販売していた千葉羊羹屋さんはいつ閉店されたんですか？

【会員】4年前にやめてしまいましたね。ご年配の夫婦で経営していて、体調を悪くされたとかで…。本当の商品名は「猿沢羊羹」ではなく「明治羊羹」だったそうですよ。地区では「猿沢羊羹」の愛称で呼んでいましたけどね。

【千葉】では、羊羹が4年前から食べられなくなり、

「やっぱり食べたいな」と皆さん思ったんですね。

【会員】そうですね。猿沢の手土産がなくなり、皆寂しい気持ちがあったんだよね。もともと「猿沢地区のために何かしたい」とか、「こころ辺（市民センター周辺）は道路整備されて交通量が増えたのに止まる車が少なくて何かしたい」と言う人は沢山いたんだけど、何をどうしたらいいかわからないし、きっかけもなかったんですね。その中で、地区の名物づくりというのは話題性があるって人が集まりやすかったです。

【千葉】「地区のために何かしたいけど、何をしたらいいかわからない」という方が多くいる中、振興会主催の「みんなで地区の課題を話し合い解決するためにどうしたらいいのか？」という話し合いの場が、羊羹づくりを始めるきっかけになったんですね。一人ではできないけど、協力してくれる仲間や相談できる人が地区にいることも、大きな財産ですよ。

### 味や食感の研究と加工場の整備

【千葉】では実際に皆さんが猿沢羊羹づくりに携わるようになったきっかけを教えてください。

【会員】私たちは、10月の文化祭でお弁当を作っている「まごころ弁当」のメンバー12名と、振興会のまちづくり委員会（計画策定委員）の2名でやっています。振興会事務局の千田久美子さんから「羊羹づくりをやってみませんか」と声がかかったのが最初でした。

【会員】羊羹は今までに6回試作したんですが、「猿沢羊羹の味を知っている人から感想が聞きたい」と、市民センターで各団体等の会議があるたびにお茶菓子として出していました。試食という形で食べていただきましたが、「この味懐かしいね」と言ってもらえたり、婦人会の皆さんからは作り方のアドバイスをいただいたり。試食の機会を多くしたからか、猿沢羊羹が少しずつ地区に浸透してきているように感じます。「早く買って食べられるようになりたいね」と言う方もいますよ。

【千葉】なるほど。会議の機会に味見してもらい、感

想を聞いていたんですね。

【会員】何回も作るうちにだんだん味がよくなってきますよ。最初は水羊羹みたいな味だったんだけどね。

【千葉】それを、地区の方のアドバイスや皆さんの試行錯誤で、猿沢羊羹の味に近づけていったんですか？

【会員】そうですね。千葉羊羹屋さんからレシピを全部教わったわけじゃないから色々苦労しました。最初は手探り状態から始めて、試作を千葉羊羹屋さんに食べてもらい「砂糖が足りない」とか指導を受けたりして。6回目にしてやっと明治羊羹に近いところに来たかなって感じです。



羊羹は長さを測りながら慎重に切り分けます

【千葉】6回目にしてやっとという感じなんですね。ところで、猿沢市民センターの近くに空き家をリフォームして羊羹の加工場を造っていると聞いたのですが、いつ頃完成ですか？

【会員】加工場はだいたいもうできていますよ。

【千葉】もうですか！？早っ！

【会員】猿沢市民センターで作ったものは、練習はできるけど販売はできないんだって。だから近くの空き店舗を借りて製造することにしたんですが、改装が必要だったんですね。でも改装の予算は最低限しかないから、地元のガス屋さん、水道屋さんとかがボランティアで協力してくれて本当にありがたかったです。

【千葉】すごい地域力！では、そこが羊羹づくりの拠点になるんですね。



羊羹づくりの拠点になる加工場（中央）

## 販売開始と活動継続のために

【千葉】羊羹はできあがったので、「猿沢羊羹を復活

させる」という目標自体は達成したわけですよ。で、やっぱり大事なのをそれを継続させていくことだと思うんです。せっかく復活させたのに一時的というのはいらないことですし、これからちゃんと継続的にやっていくためにはどうしていきたいか皆さんの考えをお聞きしたいです。

【会員】羊羹づくりはほぼ一日かかるけど、私たちは全部ボランティアでやっています。でも猿沢羊羹が商品化して、売り上げの一部をお小遣いとしてもらえればそれが活動の励みにもなるよね。お金がほしいわけじゃないけど、そうなればやる気もアップしますよね。

【千葉】そうですね！

【会員】私たちは「猿沢を何とか活性化させたい」というそれだけの気持ちでやっているし、そして皆が色々な所で「猿沢羊羹美味しかったよ」って言ってくれば嬉しいですよ。

【千葉】羊羹を復活させるぞ！皆でやってみよう！という純粋な想いが原点だったんですもんね。ちなみに、販売開始はいつ頃を予定しているんですか？

【会員】それはまだわかりませんね。今年の秋祭りでデビューという話もありましたが、それよりも早く進んでいるし。実はもう注文を受けているんですよ。

【千葉】早いですねー！！



【千葉】皆さんのお話を聞いて、「売り上げ」という目に見える成果も大事ですけども、猿沢の方々に関心ごとに向き合って、試食して感想を言ってくれたとか、「美味しい」と言ってくれたということもすごく大事なことだと思いました。最後になりますが、一部の人のだけじゃなくて、地区全体で地区を支える仕組みというのが大切だと思います。これからは必要になってくると思うのですが、羊羹を売るだけではなく、復活するまでのストーリーもまとめていながらファンをたくさん獲得していけたらいいのかなと、お話を聞いていて感じました。

## 基本情報

【猿沢振興会 事務局（猿沢市民センター）】

〒029-0431 一関市大東町猿沢字板倉 57-1

TEL0191-76-2220 FAX0191-71-4001

## 団体 紹介



地元学研究会の皆さん

### ～基本情報～

- ◆会 長：金 安信 さん
- ◆連絡先：〒029-1111  
一関市千厩町奥玉字沢前 114
- ◆電 話：0191-56-2233

## 歴史を辿り、今に活かす

### みんなで研究して形にする

皆さんは自分の苗字や家の屋号などの由来はご存知ですか？

奥玉地元学研究会は、奥玉公民館（現奥玉市民センター）の地元学講座で地区住民の苗字や屋号、家紋などを調査したことをきっかけに、平成16年に設立されました。以降、学んだことを会の中だけでなく、子ども達やお年寄りとの交流を通して地域へ伝え続けています。

今回は会の皆さんとこれまでの活動を振り返りながら、これからの地域の歴史の継承について伺いました。

普段の活動は、毎月の定例会で会員がそれぞれ研究していることを持ち寄り、皆で検証したり、意見交換をしています。調べたことを形にしようとパソコンの使い方を覚えて本を作った会員がいたり、地域の読み聞かせ団体や千厩高校の美術部の協力により紙芝居が作られたり、研究した地域の歴史は積極的に形にして残しています。

### 地元学で広がる世代を超えた交流

設立当初から続けている活動の1つに奥玉小学校の6年生との郷土学習「奥玉探検」があります。地域の人達からも資料提供や解説などの協力をもらいながら、奥玉の神社や鉱山跡などの史跡を見て回ります。

「奥玉の名前の由来に関係する玉堀山で水晶掘り体験をして楽しんだり、城跡がある丘の上から見える景色に感嘆したり、実際に現地に行って見て触れることが大切。参加した子ども達は学んだことを劇にして学校の学習発表会で発表してくれました」と話すのは会長の金安信さん。劇にする際には、大きな石碑を昔の人達はどうやって運んだのかなどを子ども達なりに想

像を膨らませてストーリーを考え、会の皆さんでサポートしてあげました。「初めに参加してくれた子達はもう大人になっているけど、自分達で劇を作った思い出は忘れないでしょう」と金さんは嬉しそうに続けます。

昨年からは介護予防支援活動として、市役所千厩支所保健福祉課と連携し、回想法という思い出を語り合うことで認知症予防などに効果があるとされている心理療法を使って、千厩地域の老人クラブと交流を深めています。「昔の農業用具の写真などを使って皆が話しやすいように話題提供してあげるのですが『昔はこうだった』『お嫁に来る時に自分の出身地ではこう教わった』など話が盛り上がる中で、自分達が知らなかったことを教えてもらうこともあります」と事務局の村上福男さん。会の皆さんも「調査や史跡整備などをしていく中で新たな発見があったり、やることはいっぱいでもキリがない。だからおもしろいんだよ」と笑顔で話します。歴史への探求心はまだまだ尽きません。

### 伝え続けたい地域の歴史

今後について「何気なく続いてきた行事なども歴史を辿れば知らなかった起源や背景を発見することもあります。現代はいろんな情報が入ってくるようになりましたが、身近なことは知らなかったりするので伝えたい。そのためにも調べてきたことを活字や写真で残したり、語れる次の世代を育てていきたいです」と会の皆さんからメッセージをいただきました。

皆さんも自分の家や身の回りのことを調べてみてはいかがでしょうか。思わぬルーツがあるかもしれませぬよ。



奥玉小学校6年生との郷土学習「奥玉探検」

## 地域紹介



区長 伊藤貞一さん

### ～基本情報～

- ◆自治会長：伊藤貞一さん（3期5年目）
- ◆48世帯134人が暮らす弥栄8区では、平沢分館を集会所として利用し、組織に部会は置かず役員のみ配置。地区全体の運動会では6年連続で応援賞を受賞するなど結束力の高さが自慢です。

## 支え合いの心と交流活動で皆が住みよい地域に

### 役を分担し皆で支え合う民区に

真滝駅と門崎駅の間に位置する弥栄8区（以下「8区」）は、面積のほとんどが山林で、東は北上川に面している自然豊かな農村地域です。

「一人の負担を分散するために、できるだけ多くの方に役を割り振るようにしています」と語るのは、8区区長の伊藤貞一さん。取材で拝見した総会資料には、自治会役員をはじめ年間行事や各スポーツ競技の代表責任者、区を飛び越えた弥栄地区全体の団体の代表や委員など57の役職名簿が載っており、誰が何の役をしているか一目でわかるようになっています。自分が直接関わらない団体でも、地域にどんな団体があるのか知ることでも地元を学ぶひとつ。名簿に連なる名前の数々を見ていると、これだけ多くの方が地域を支えているということを改めて実感します。

総会には全世帯の3分の2が集まるという8区ですが、民区行事の参加率を上げるためにも、区報は月2回の発行を目指し地域の情報を細めに発信。併せて配布する一関市広報は、自宅に届いた翌朝から地域に配り始められるよう準備し、「今回は1時間遅かったね」と地域の方に言われるほど規則正しいタイミングで配布しています。伊藤さんは「いつも同じタイミングで配れば受け取る方も準備ができるだろうから」と地域の方への心遣いを話します。

### 民区活動で交流と楽しみの場を

8区が力を入れている活動に、「門松作り」「有価資源回収」「花壇整備」があります。

「門松作り」は昭和50年代から続く活動で、毎年高さ約2mもの門松を対で制作。完成した門松は民区の奈良井橋前に飾るほか、過去4年間は被災地支援として陸前高田市竹駒町にある相川仮設住宅と細根沢団地に贈呈しており、設置期間が過ぎた門松は回収して民区のどんと祭へ。最近では、被災地に門松と一緒に野

菜も贈り、お返しに手作りの手提げバックをいただくなど親睦が深まっています。

「有価資源回収」は3年前から始めた活動で、年3～4回実施。回収で得たお金は防犯灯設置の財源や区費の補充、年間行事の予算に充てています。「おかげ様で、ほとんどの家から積極的な協力をいただいています。この活動により年々上がる区費の負担を少しでも抑えられれば」と伊藤さん。協力体制が強い8区の強みを活かし、できる範囲の活動で行事の充実や住民の負担軽減を図っています。

「花壇整備」は民区内3か所の花壇を班交代で管理しており、中でもスクールバスの停留所近くにある「なかよしハウス」は、地域の子ども達から名前を募集してつけた名前で皆さんに親しまれています。

また、中山間事業では線路周辺の田んぼに菜の花を植え、収穫した花を大東町の「花菜油の会」に依頼し搾油・瓶詰、列車の絵が入ったオリジナルラベルで製造しています。「見頃の5月連休には、菜の花の黄色と電車の風景を撮りに写真家も訪れます」と話す伊藤さん。地域の絶景スポットとして、これからも地域の手で守り続けてほしい風景です。

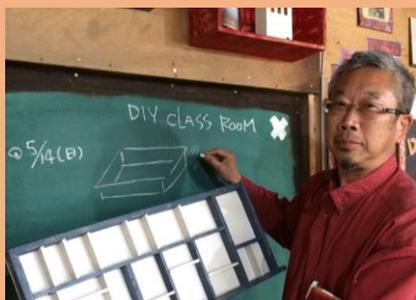
### 地域の活動を外へ広げる

地域の取り組みについて伊藤さんは「民区や地区内だけに留めず、外の人も巻き込んでいけるようにしたい。『やってみる』と言われるれば自信ないけど、そうじゃないと活動は広がらないよね。広げるためには地域に参加できる場所をつくり、こちらから呼びかけていくことが少しずつ地域を変えていくんじゃないかな」と今後の運営について語っていただきました。



門松完成の時の記念撮影

## 企業紹介



代表 森谷 茂樹さん

### ～基本情報～

- ◆代表：森谷 茂樹さん
- ◆連絡先：〒021-0851  
一関市関が丘 33-7
- ◆電話：0191-23-0513
- ◆FAX：0191-23-0513
- ◆E-mail：hy6yi9@bma.biglobe.ne.jp

## 大切な物を見失わない地域づくりへ～建築家としてのお手伝い～

### 新たな命を吹き込む建築家

建築士として30年のキャリアを持ち、8年前からは個人事務所として地域の建築関係者とタッグを組み、お客様のニーズに合わせた住まいや店舗等の設計・建築などを手掛けている森谷さんは、各種現場で不要となった廃材を利用した家具製作なども手掛けています。

「どちらかというと昔からビンテージ系の物に興味がありましたね。古き良きものを発見すると心が安らぐ気がします。家々で継承してきた『物』に新たな命を吹き込むという作業ですね」と廃材を活かした住宅等のリノベーションは森谷さんの手によってどこか懐かしくそして新鮮味ある『物』へと大変身を遂げます。

また、「木の温かみを最大限活かした再利用」として、昨今ブームになっているDIY（専門業者ではない人が自身で何かを作ったり、修繕したりすること）の材料として「必要な人や場所」に資材提供もしています。

### 楽しみながら交流できる居場所づくりの提供

森谷さんは通常の建築やデザイン業務の他に、昨年からは週末などを利用してDIY教室「DIY CLASS ROOM」を開催（月2回程度）しています。「DIYに興味がある方であれば初心者でも大歓迎。昨年は親子含め多くのメンバーが活動しました」と森谷さん。「物作りを通じて『いろんな人と交流をする』ということも教室の目的の一つなので、廃材で家具などの完成品を個人的に作り出すだけでなく、仲間と協力して何かを制作したり、会場の原っぱでみんなでお弁当を囲んだり、小さな集落のように居心地のいい空間を目指しています」と続けます。

「いずれは、参加者がこのDIY CLASS ROOMで学んだことを活かして、地域のイベントに出店してみるのもいいと思うし、自分の家などを好きなようにリフォームしてみるなどつながっていけばいいですね。実はすでに、5月の第1土曜日の“一関ど市”にうちのメン

バーが出展したようで、自信を持って楽しんで取り組んでもらえるというのは嬉しいものです」と語る森谷さんは、廃材の再利用と人々が集える場の提供を通して、「一関に住んでいてよかった」と思えるような環境づくりを支援しています。

### 小さな幸せの村プロジェクト

「実は建築士として長く仕事をしていて、残念だなと感じることが一つだけあります。住宅や店舗などをつくる際、特にお隣さん同士が快く迎えてくれないこと。排他的な雰囲気にも包まれていることもあり少し残念に感じます。快くウェルカムな関係になってくれるとありがたいのですが」と語ります。

交流を大切にし、人々の笑顔が大好きな森谷さんは、「快いウェルカムな環境」や「共生がもたらす平和な暮らし」を実現するために、次世代へ提案する住環境「共生の村づくり」という大きな夢があり「小さな幸せの村プロジェクト」を立ち上げました。

“小さな幸せの村”とは、共同施設（コモンハウス）を中心に、同じ敷地内に数軒の住居（プライベートハウス）が点在する住環境のこと。菜園などもコミュニケーションツールの一つととらえて共同で管理し、ルールを決めて生活の拠点を豊かにするという、いわば私たちの先祖が築き上げてきた小集落の復活。お互いの得意な分野（職業であったり知識など）を活かして共生していく小さな村です。

「たくさんの人とのつながりを大切にし、このような話をするきっかけを作りながら、夢が形として後世に残せたらいいなと思っているところです」と語っていただきました。



5月14日“DIY CLASS ROOM”の様子

# センターの OO!

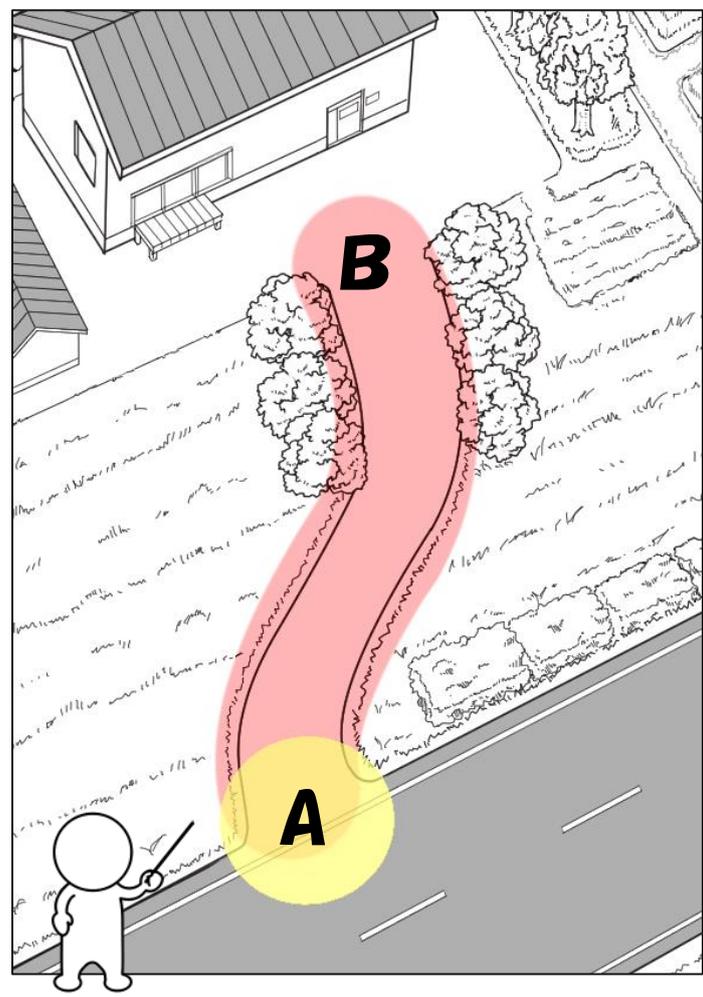


情報誌 ideal 月号の中で年末行事“悪魔払い”を特集した際、地域の方々から「ご幣束はカドグチに納める」という答えと、「ジョノグチに納める」という答えの2つの言葉がでてきました。そこで今回その言葉の意味について、違いがあるのかどうか?はたまた同じ意味合いを指す言葉なのか、調査をしてみました。ずっと気になっていたこの話題! ついに謎は解明されるのか!?

今回の調査では、各地域担当スタッフが上記写真を片手に「カドグチとジョノグチどちらの言葉を使っていますか?」という質問と、その言葉に思い当たる場所は写真のどの辺りなのかを聞き込みしました。また、「どちらも使う」と回答された方からは、その境目を答えていただきました。

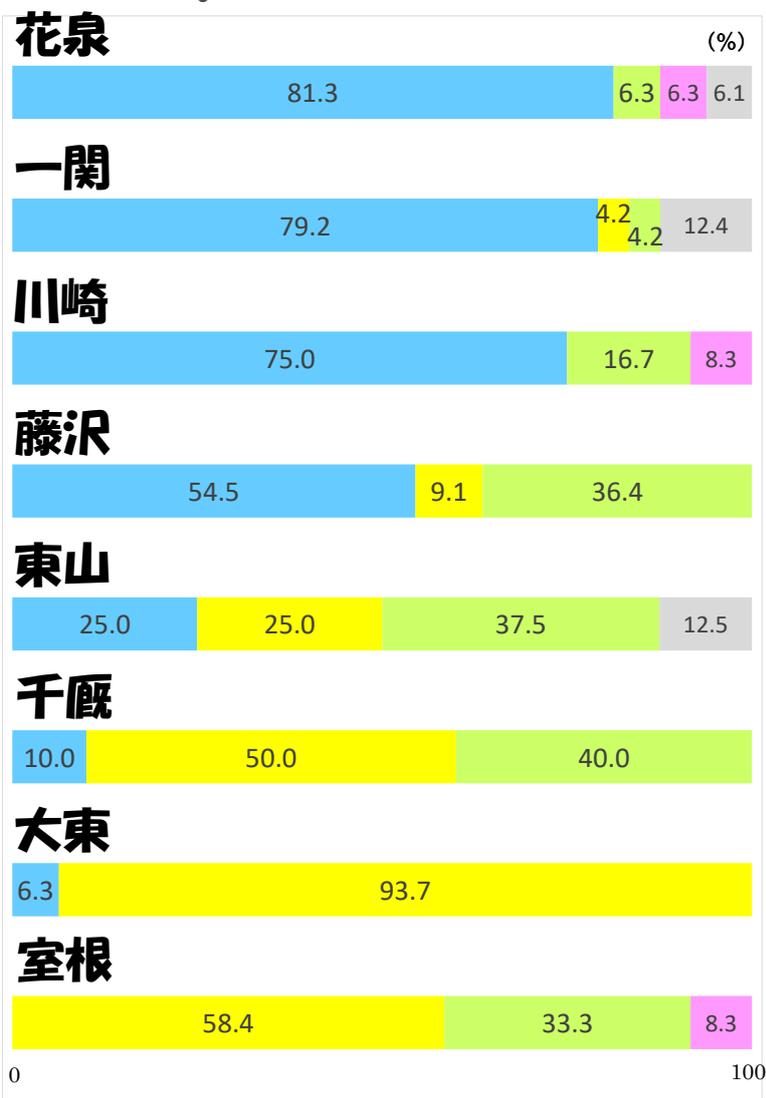
「カドグチとジョノグチ  
どちらの言葉を使う?」  
地域別回答結果

- カドグチ
- ジョノグチ・ジョノグズ
- どちらも使う
- モングチ
- 知らない・使わない



## 調査結果ダイジェスト

今回の調査結果では、カドグチはイラストAの場所(市道と私道の境目)を、ジョノグチはA~B(市道と私道の境目~自宅敷地入り口まで)を示すという回答が多数でした。比較的、ジョノグチ派が多い地域は、東山・千厩・大東・室根でした。「どちらの言葉も使用し、場所によって使い分ける」という方はイラストAをカドグチ、A~Bをジョノグチと区別。総合すると、使い分けをしている地域でも、カドグチ・ジョノグチどちらか一方の言葉のみ使用する地域でもイラストAをカドグチ、A~Bをジョノ



グチと呼んでいることが分かりました。コレが正式な境目だと断言できませんが独自調査の結果としたいと思います。ちなみに、漢字で書くとカドグチは「門口」ですが、ジョノグチはどのように書くのか意見が分かれしました。方言の書物によればジョノグチは「定の口」と表現していましたが、聞き込みでは「序の口ではないか」という意見が多数でした。また、少数派でしたがモングチ(門口)と呼称しているお宅もありました。これはその家に昔(もしくは現在も)門があったからだと考えられます。

# おしらせ

**一関** さくらなみき自閉症美術館 企画展  
Respite House HANDS

特定非営利活動法人レスパイトハウス・ハンズの利用者さんの作品展を行います。館内にて「さくらなみきオリジナルブレンド」のドリップコーヒーを100円でお楽しみいただけますのでぜひご利用ください。

\*\*\*\*\*

【期間】平成29年4月11日(火)～平成29年6月25日(日)

【場所】さくらなみき自閉症美術館(月曜・祝日休み)

【料金】入館料無料

【問合せ】0191-48-3622(場所と同じ)

**一関** まちづくりコーディネーター養成講座

地域づくり活動における基本的な考え方や進め方、知識を身につけて、まちづくりコーディネーターになろう！①地域づくり概論②話し合いの仕方③事務局運営④情報発信の全4回講座です。※各回1週間前までにお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【期日】①平成29年6月10日(土)  
②6月24日(土)③7月1日(土)  
④7月22日(土)

【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室

【参加料】2,000円(全4回分)

【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

**室根** 玉ねぎ収穫会

「一関ハラミ焼きなまじょったべ隊」が作るハラミ焼きに使用する玉ねぎを、地元JA青年部などによる「玉ねぎの会」が栽培しています。収穫会に参加された方全員に1人約3kgの玉ねぎをプレゼントするほか、昼食としてハラミ焼きを食べることができます！ぜひ親子でご参加ください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成29年6月10日(土)8時～12時(開会式は9時～。途中参加も可)

【場所】室根西小学校付近の畑

【料金】無料(軍手等はご持参ください)

【問合せ】080-2843-8519(芳賀)

**一関** ヨソモノさんいらっしゃい「ヨソモノさん EXPO」

他の市町村から一関市へお越しいただいた方(ヨソモノさん)から地域住民の方へ、行っている活動や事業を広く周知してみませんか？プレゼンターとなるヨソモノさん10名と、プレゼンを聞く地域の方(参加無料)を募集します！※プレゼンターは6月7日(水)までにお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成29年6月21日(水)19時～21時

【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室

【料金】1,000円(プレゼンターの方のみ)

【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

**一関** いちのせきウォーク 2017  
歩く楽しさ発見！さあ みんなで歩こう！

巖美の骨寺村荘園交流館から駒形コース約3kmのウォーキングを行います。全員で「いちのせき体操」と「ノルディックウォーク」を体験し、楽しく交流しながら健康増進を目指します。※6月14日(水)までに下記問い合わせ先までお申し込みください。

\*\*\*\*\*

【日時】平成29年6月24日(土)8時30分 市役所集合

【定員】最大100名 【参加費】100円

【持ち物】昼食は各自でご持参ください。

【問合せ】0191-31-3111(一関市総合体育館)

**千厩** 千厩病院福祉ボランティアの会員募集

千厩病院福祉ボランティアの会では、病院での受付・会計の補助(月2～3回)や、入院患者さんとの軽体操や朗読、歌や折り紙などを通して心身のケアをする「病棟ボランティア」(月1回)を行っています。どなたでも入会できますので、お気軽にお問い合わせください。

\*\*\*\*\*

【場所】千厩病院内

【年会費】500円

【問合せ】0191-52-3369(館沢) 0191-52-2137(藤野)

**千厩** ミュージックパーティー vol.3

佐藤篤子さん(ソプラノ)、古橋郷平さん(テノール)、千葉裕之さん(ヴァイオリン)、千葉祐佳さん(奥玉出身/電子オルガン)での音楽パーティーを開催します。今回は「花」をテーマに、花にまつわる名曲の数々をお贈りします。

\*\*\*\*\*

【日時】①平成29年6月16日(金)18時半開演  
②平成29年6月17日(土)14時開演

【会場/チケット取り扱い】マリアージュ

【料金】チケット2,000円(税込・全席自由)  
※小学生以下無料

【問合せ】090-9635-5820(千葉)

**藤沢** 第24回全国ハーブサミット in 一関

全国ハーブサミットが一関市で開催されます。会場では和ハーブフォーラム&パネルディスカッションや展示を行います。また、6月24日(土)～25日(日)の2日間かけ、市内3会場(世嬉の一酒造、花と泉の公園、館ヶ森アーク牧場)でハーブフェスティバルを同時開催します。

\*\*\*\*\*

◇第24回全国ハーブサミット in 一関

【日時】平成29年6月24日(土)14時～

【場所】藤沢文化センター「縄文ホール」

【問合せ】0191-63-5317(藤沢支所産業経済課)

**一関** 「イマカラ」登録者募集

いちのせきの市民活動スタッフバンク、通称「イマカラ」は、一関市内で開催されるスタッフを募集したいイベントと地域で活動したい人をマッチングする仕組みです。当センターのホームページ内「いちのせき市民活動スタッフバンク」のページから無料のスタッフ登録をすると、スタッフを募集しているイベント情報が随時メールにて配信されます。※登録は18歳以上の方で居住地は問いません。

\*\*\*\*\*

【問合せ】いちのせき市民活動センター  
【電話】0191-26-6400

## 今月の表紙



渋民地区のとある民家に現れた一頭のカモシカ。珍しそうにカメラを見つめる姿がかわいらしいですね。表紙のお写真は渋民地区振興会の会長さんより提供いただきました。皆さんからの写真ご提供もお待ちしております！

## Q & A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

**Q** 具体的な事業を考える時のポイントは？

**A** 初期段階では「やりたいこと」「できること」から考えてみましょう。まずは実際にやってみることでわかることもありますし、やってみることを積み重ねる事でもできることも増えていくものです。次は「やりたいこと」「できること」に「求められていること」を加え、この3つが重なる部分を考えてみましょう。それがポイントになりますし、「求められていること」の視点が抜けている事業はうまくいかなかったりマンネリ化することが多いようです。